

清田区が20周年を祝いに開いたり取り組むことの事項



平岡地区町内会連合会

会長 中川 昇

皆様、ご健勝でお過ごしの事と拝察しあ慶び申し上げます。日頃は、町連事業にご理解頂きまして感謝申し上げます。さて、広報平岡の投稿に当たり、清田区の昨今の動向に付きまして新年交礼会での挨拶内容を報告いたします。

本日は大変お忙しい中、秋元市長、板垣副市長、高橋区長、国會議員、道議会議員、市議会議員の先生初め、多くのご来賓の皆様、各町内会役員のご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。清田区の各界を代表する方々が一堂に会し、懇談できま

すのは大変意義のある喜ばしい事であります。

昨年は、熊本大地震、ま

た相次いでの台風災害等自然の脅威を感じた年になりました。災害地区・災害避難者の速やかな回復を祈念申し上げました。幸い、清田区は災害に強い地域ですが日頃の準備の必要性を再認識したところであります。

道内のプロスポーツの活躍が感動と希望を与えてくれました。8月のリオオリンピック、パラリンピックの活躍、日本ハムは日本一に輝き、コンサドーレは、J2優勝しJ1復帰、夏の甲子園では、北海高校が準優勝、今年も開幕を待ち望んでいます。

2月20日から冬季アジア大会が開催されました。白

幡山はクロスカントリー競

技が行われ、大会を盛り上げる為、高橋区長の並々ならぬ熱意により、清田区応援隊を結成する事になりました。これが2026年冬季オリンピック招致活動につながっていきます。

昨今、特に福住から大曲間の大渋滞が大きな問題となっています。バス路線のみの清田区は、札幌駅に行くのに他区とは交通の便に格段の差があります。

7月1日に秋元市長を訪問し、地下鉄東豊線延線、清田区地域中心核整備、オリンピック招致等要望しました。日ハムがドームから移転するニュースがありますが、清田区住民は多くのファンが熱烈に支えてきていました。ここでも地下鉄東豊線建設促進期成会は残留のお願いをする予定であります。さて、清田区には警察署

がありません。11月24日清田警察署設置促進期成会がありました。高橋区長を中心にして参ります。一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様のご健勝ご発展を祈念申し上げご挨拶と致します。

平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 中川 昇
編集責任者 妹尾 裕司

要望書を提出しています。
清田区が区制20年を迎えます。白幡山、あしりべつ川、平岡梅林をはじめとした恵まれた自然環境を生かし、触れ合いに満ちた安らぎのある安心な街へ成長しました。

20周年記念ロゴマークが披露され、各イベントに冠」を付けて展開されます。
※ホームページ…「平岡地区町内会連合会」で閲覧できます。

平岡地区町内会連合会の専門部紹介



環境衛生部長 椎野義造

平岡地区を清潔で住み良い街にするため町内会の役員・衛生推進員の皆さまはゴミステーションの管理・違反ごみの処理等にご苦労されておりますが、改善も進んでおり梅公園の美しさと並び環境の良い街と評価をいただいております。

これからも住民一人ひとりの活動と協力により、環境美化・環境衛生・ごみの減量・リサイクルの推進に積極的に取り組み、より一層の成果をなすため活動を継続していきたいと思います。

1 初期の環境衛生部長会
(活動の内容)



出前講座

応答ではごみパート隊も参加し実務的な検討を実施しています。

※出前講座は各町内会で年1回の実施を薦めておりま

2 北野通り合同植栽・清掃活動の実施



三里川の草刈り・清掃

北野通りに隣接する3町内会（平岡東・平岡コープタウン・平岡）で、主に花壇の植栽・清掃を参加者160名超で毎年5月中旬に実施しております。清潔で住み良い街づくりに貢献しております。

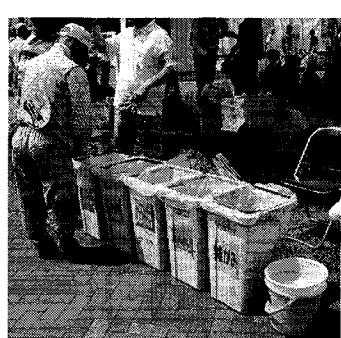
3 三里川及び平岡まちづくりセンター駐車場の草刈り・清掃の実施

毎年6月中旬に実施している草刈り・清掃には、平岡地区26町内から毎回100名を超える参加と町内会所有の草刈り機15台を提供して戴き、三里川周辺の草刈り・

清掃とまちづくりセンター駐車場の草刈り（5町内会が担当）を実施しております。三里川は梅公園に隣接して行楽に適した場所でもあり、環境整備に大きく貢献しておりますので今後も続けていきたいと思っております。

この活動に毎回土木センターから作業に必要な軍手やごみ袋の提供をいただいております。

4 清田ふれあい区民祭り



区民祭りゴミステーション

へ環境保全員として参加（5種類の分別収集箱を設置）でごみの分別指導と場内清掃に参加し、清潔な会場たごみステーション4ヶ所

環境保全員は5町連から10名づつ、2時間交代で従事しており、平岡地区では5町内会から2名づつ輪番制

で参加していただいているます。

(1) 5月30日のごみゼロキャンペーン実施



清掃工場見学

参 加 施設見学は各町内会連合会から10名づつ、50名の参加で年1回実施しております。28年度は発寒清掃工場長沼プラスチック選別センター・資源選別センターの処理状況を見学いたしました。

(2) 清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会主催の環境衛生施設見学研修会への参 加

（3）清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会総会への参 加・環境衛生に関する講演

総会では優良モデル地区の表彰及び一年間の事業報告・環境衛生に関する講演

(3) 清田区クリーンさっぽろ衛生推進協議会総会への参 加

自 動選別し、最終処理はペルトコンベアで流しながらペットボトルのキャップはずし、異物の排除等が手作業で行われており、日頃のごみ出しルール厳守の大切さが再認識させられます。

又、クリーンさっぽろ衛生推進連絡協議会（全市）の会長表彰として27年度は平岡コープタウン町内会

28年度は平岡地区町内会連合会環境衛生副部長 水島勇氏が受賞しました。

青少年育成部の活動紹介



青少年育成部長 北川洋一

員会によって構成する「清

田区青少年育成委員会連絡協議会」が組織され、各地区相互の情報交換、関係機関等と連携を図りながら青少年の健全育成を推進しています。

地域の子どもたちを見守ることが将来の平岡地区の安心安全な街づくりにもつながっていくと考えております。

また、清田区内には連合町内会（5地区）の青少年育成委員会が設置されており、各地区の青少年育成委

会を実施しており、各役員及び町内会衛生推進委員が参加しております。表彰は審査が行われ、平岡地区では27年度は平岡パークシティ町内会、28年度は平岡春風町内会が受賞しました。

びん・缶・ペットボトルの処理では3種類を風力で自動選別し、最終処理はペルトコンベアで流しながらペットボトルのキャップはずし、異物の排除等が手作業で行われており、日頃のごみ出しルール厳守の大

切さが再認識させられます。

自 動選別し、最終処理はペルトコンベアで流しながらペットボトルのキャップはずし、異物の排除等が手作業で行われており、日頃のごみ出しルール厳守の大

切さが再認識させられます。

的な活動を通して、子どもたちが集団の中で育つことが望まれ、そのためには家庭・学校・地域社会の行政の連携がますます重要となります。

ここからは、主な年間活動を少し紹介します。

毎年、青少年健全育成啓発活動として平岡地区の店舗前でティッシュの配布を行い、子どもを見守るお店の登録推進活動及び子どもたちに有害な商品の提供をしないように排除活動推進も行っています。



百人一首大会

今年は、地球環境について関心を持つてもらうことを目的とし、JXエネルギー室蘭製造所に行き、日本のエネルギーについて楽しく学んできました。

今後も、地域において子どもたちの社会参加や体験の機会・交流の場を提供していきたいと考えております。毎年、家庭・学校・地域が一体となりあたたかい、思いやりのある子どもを育ります。

また、巡回活動は7月、8月は夏休み期間・厚別神社秋祭り等を中心に地域と連携を図り、毎年行つております。



ハーティマインド推進運動

てようと平成6年から、ハイテクマインド推進運動を実施し(平岡小・平岡中央小・清田区の地産・地消を目的に有明地区のほうれん草・イチゴ・シイタケ栽培の農家を訪問し清田区の野菜栽培について見学をしてきました。

平岡コープタウン町内会は、昭和54年4月に100世帯ほどで発足しました。

住宅生協が建売分譲住宅として販売したことから町内会の名称を「コープタウン」としたようです。

その後二期・三期と分譲販売され、分譲マンションも2棟建設されて現在は335世帯となっています。

発足当時は、20代後半から30代前半と若い世代が中心で、子どもたちも多くいてぎやかで活気のある町内会でした。

38年ほど経った今は、70歳前後の高齢者が多数を占めるようになりますが、最近少しずつ若い世帯が増えているところです。

町内会では、8つの部(総務部、女性部、防災防犯部、交通安全部、青少年体育部、保健衛生部、福祉厚生部、広報部)と3つの委員会(夏まつり実行委員会、ふれあいサポート委員会)があり、平成25年4月から

町内会の活動状況

平岡コープタウン町内会

会長 長谷川 陽一



会、ゴミステーション委員会)を設け活動を行っています。

◎会員の高齢化が進む中で正確な数は把握できていませんが会員の半数は65歳以上の方だと思われます。

このようなことから、すでに見守り活動を実践している平岡公園町内会の皆さんと懇談の場を設け、見守り活動のノウハウを勉強させていただきました。

平成24年4月に、「平岡

コープタウン町内会高齢者対策事業実施細則」を定め①75歳以上の一人暮らしの方並びに夫婦二人暮らしの方②障害のある方で家族等が遠距離のため支援の必要な方を対象に見守り活動に取り組み始めました。

みよいで、気持よく、住見守りを希望する人、見守り活動に協力できる人それぞれ全世帯を対象に調査をしました。その結果、見

守りを希望する人13人、見守り活動に協力できる人12人となり、平成25年4月から活動を始めました。

ら2人1組で月2回を基本に活動を始めました。

平成26年10月見守りを希望する人が施設に入所や死亡などで減少したため、再度希望を取りましたが希望者はありませんでした。

作業部会(勉強会)で話し合いをする中で、本人からの依頼は無いが、それぞれが知っているまたは気にかかる新聞がたまっている、カーテンが閉じたままになつているなど)を周りからそつと見守る活動も行なうこととし現在に至っています。

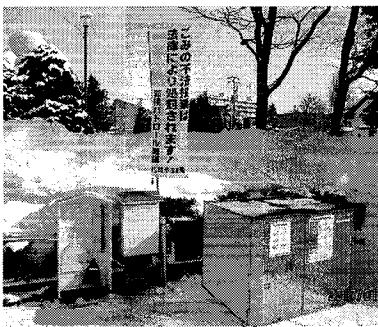
コープタウン町内会は20の班(1班は20~30世帯)で構成されています。

今後、一つの方法として班単位で日常的に見守りができるような仕組みができるか検討してみたいと考えています。

これまで見守り活動を実施しているところです。

なかよし公園の草刈と清掃、ごみステーションの管理、花壇づくりと手入れなどシニア好友会の協力もいただくほか資源回収や犬の糞の始末など気持ちのいい環境づくりのための広報活動も行なっています。

また、シニア好友会の自活動として町内の清掃活動も定期的に行なっています。ゴミステーションは網目の荒いネットを使用していたためカラスの被害でゴミが散乱して不快な思いをしていましたが、平成24年4月にゴミステーション管理委員会細則を定め、ゴミ箱を折りたたみ式でカラスが突つつくことのできない丈夫なものを購入し13箇所に設置しました。



ゴミボックスタイプ

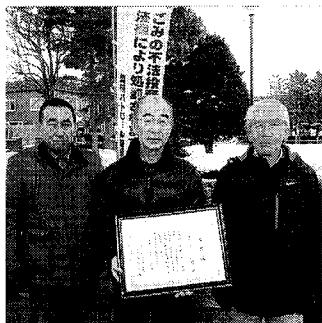
それぞれのごみステーションを管理するため13の班（概ね20世帯を一つの班）を設け、2～3世帯を一組として1週間交代の当番制とし実施しています。

また、各班には1年交代の輪番制で班長をおき、何か問題が起きた場合に班長を通じて保健衛生部に報告がなされ、問題の解決に当

たります。委員会（各班長も参加する）は年に3～4回開催して事業を円滑に進めるため話し合いを行います。

このような取り組みを進める中で、平成25年「第37回ます花壇優良製作者」、26年「清田区クリーンさっぽろ衛生協議会会長表彰」、27年「クリーンさっぽろ衛生協議会会長表彰」、28年「クリーンさっぽろ札幌市長表彰」を受けました。これからも「きれいな街づくり」を目指し活動を続けていきたいと思います。

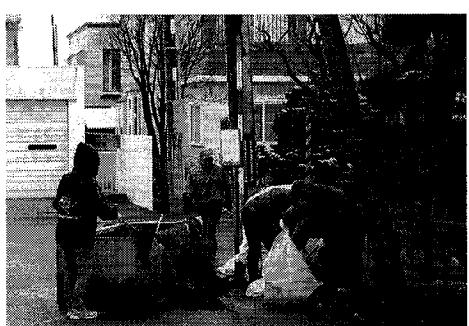
最近取り組みをした主なことについて記載しました。通年の主な事業としては、夏まつり、新年会、資源回収、女性部親睦会、女性部新年会、かけっこ教室、夏休みラジオ体操、花壇作り（北野通り）、パートナー排雪などを行っています。



クリーン札幌会長表彰



夏祭り



ゴミステーション整備

●「住み良い街」づくりは、福祉推進部が中心となって、高齢者の健康増進のための健康講座の開催や「安心カード」の全戸配布、独居高齢者宅（20世帯）への安否確認訪問を町内会マップで確

町内会活動は「親睦」がベースであります。

何故ならばお互いに顔と名前などを知り合えば、大災害や緊急事態へ速やかな対応ができる筈であります。従つて、可能な限り町内会の活動に参加することで、親交を深めることもできるので、夏祭りや日帰り旅行など大きなイベントや、少人数の趣味の会やサークル活動・ミニ文化祭などに積極的に参加されることが「相手を知る」ことに繋がるので積極的なご参加をお願いしているところです。

平岡春風台町内会

会長 吉 田 孝

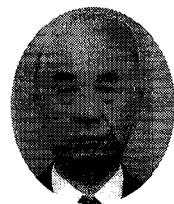


我が町内会の活動について

街づくりを目指しており、ここでは9つある事業部の中で関連の強い3つを取り上げてみたいと思います。●「清潔な街」づくりは、環境衛生部が中心となつて、町内にある35箇所のゴミステーションを巡回パトロールしながら、ゴミの排出がルール通りになされているか、当番制が良く機能しているかを指導しながら、要望のある資材を提供するなど、その内容が評価されて清田区クリーン札幌推進協議会から、平成28年5月に表彰を受けました。

●「安全・安心な街」づくりは、防犯・防災部が中心となつて、子供達の登校時の交通安全の指導や清田消防署の指導の下、防災訓練の実施や年末パトロールや排雪作業時前の路上駐車の注意喚起、雪の下にある消火栓の掘り起こしに当たっています。また、自主防災組織による「防災マニュアル」を作成して、班長以上へ配布すると共に役割分担を明確にしています。併せて清田区や町内会連合会主催の訓練や研修等に積極的に参加を募り意識の向上に努めています。

認しながら結果を一覧表にして管理しています。また異常情報通報システムを活用して会員・班長・区長・役員全員がアンテナとなって情報の集約と公的機関への対応することになっています。



「ふれ愛の街」33年の活動 「子どもたちの声が聞こえる!」

平岡公園町内会

会長 安 藤 英 夫

同士のお楽しみ参加と賑わいます。



バスツアー



ふれ愛サロン

◆好評の「ふれ愛サロン」は3年目に次に、年間を通して実施している主要活動を二つ挙げます。

一つは、毎月第4金曜日午前から午後にかけて開設です。だれでも気軽に町内会館へ足を運べるように、ふれ愛サロン実行委員会が企画・立案し、平成26年からスタートさせたサロン活動です。



夏まつり

◆「お変わりありませんか」と見守り活動

二つ目は、福祉厚生部所管による「見守り・声かけ活動」です。災害時の助け合いを見守り活動です。

日常的な高齢者世帯や持病などのため災害時避難に不安を抱える方を対象とした見守り活動です。

平成24年から、30余名の協力員により30名前後の対象者を見守ったり、声かけをしたりしています。

◆「新発想」「伝統的」など各種行事も目白押しされています。

1月 新春のつどい

2年前までは「新年交歓会」として実施していた行事を昨年から変更。3世代餅つき大会」と「アミリーコンサート」として開催しています。コンサートには、札幌市内の音楽・芸術グループなどを招きます。



花植え

3月	前期班長会議(50班)
4月	防災訓練の実施
5月	町内会定例総会 新一年生に記念品贈呈
8月	花植え・美化運動 青樹会(老人クラブ) の花壇づくり
12月	敬老の日記念品贈呈 防犯パトロール



新春のつどい

◆バスツアーと夏まつり
家族参加で大にぎわい

2大イベントは、春の日
帰りバスツアーと夏まつり
子ども盆踊りです。

内会の活動あれこれを紹介します。

聞こえるふれあいの街。そ
んな町づくりを目指す当町

例年、大型バス3台で札
幌周辺を巡るツアーは、親
子連れ・夫婦参加・年配者

夏まつり子ども盆踊り。子
ども踊り、大人踊りの後に
行うお楽しみ抽選会は400世
帯強の参加となります。周
辺町内の子どもたちも含
めると、会場の平岡はらつ
ぱ公園は数百人の人々であ
ります。

然し、未成熟な部分や改善すべき点も多く、関係機関からの情報入手や他町内会の事例を参考にしながら、役員共々に会員から信頼と共感を得られる地域へと進化させていく所存であります。

清田区社会福祉協議会をはじめ、地域包括支援センターや介護予防センターなどに講師派遣を依頼し、工作座を凝らした「暮らしの講座」を開催しています。ときには、洋画・邦画を問わず名作の映画上映会を企画し、人気を博しています。

なお、昨年10月には、街路灯の普及・維持管理に尽力したとして、札幌市長よ

り表彰を受けることができました。

みんなの広場「コーナー」

「草野球は楽しい」



平岡コーネットタウン町内会

佐藤 博之

名の部員で構成され、最高年齢は80歳になる人です。

北海道には、還暦チームが38、古希が10チームあります。70歳以上であれば、どちらの大会にも出場出来ます、が、還暦チームでレギュラーになるのは難しいでしょう・?

今年で創部17年目になります。当初は、出ると負けのチームでしたが、10年位前から少しづつ強くなり、一昨年社会人野球経験者を2名、それに近い人2名の新戦力を迎え、北海道チャンピオンになる事が出来ました。昨年は、残念ですが2位という結果に終わりました。今年は、再び頂点を目指します。

今日は、そんな中でも還暦・古希の年齢になつても元気で野球をやっている人達の紹介です。平岡地区に住んでいる仲間も数人参加しております。私もその一人です。主に清田区に居住している人達の野球チームで「還暦&古希札幌野球クラブ」といい、曆還・古希

野球大会に参画しております。還暦が22名、古希が16名の部員で構成され、最高年齢は80歳になる人です。北海道には、還暦チームが38、古希が10チームあります。70歳以上であれば、どちらの大会にも出場出来ます、が、還暦チームでレギュラーになるのは難しいでしょう・?

今年で創部17年目になります。当初は、出ると負けのチームでしたが、10年位前から少しづつ強くなり、一昨年社会人野球経験者を2名、それに近い人2名の新戦力を迎え、北海道チャンピオンになる事が出来ました。昨年は、残念ですが2位という結果に終わりました。今年は、再び頂点を目指します。

今日は、そんな中でも還暦・古希の年齢になつても元気で野球をやっている人達の紹介です。平岡地区に住んでいる仲間も数人参加しております。私もその一人です。主に清田区に居住している人達の野球チームで「還暦&古希札幌野球クラブ」といい、曆還・古希



第17回北海道還暦軟式野球選手権大会優勝

○ 佐藤博之(平岡コーネットタウン町内会)
○ 桐山誠一(平岡春風台町内会)
○ 竹下敏雄(平岡公園町内会)
○ 妹尾裕司(平岡北町内会)

が、体力では負けません。
最後は、体力勝負ですからね?。勿論、冬も学校開放の体育館で週一回練習をしております。

「我がまま・人の言うことを聞くかない」年寄り、そんな人達の集まりですがチームの心が一つとなり、仲間と共に感動し、誰よりも野球を愛し、いつまでも変わらぬ情熱を持ち続け、オールドパワーを発揮。「ピン

ピンコロリン」迄、生涯現役で野球を続けます。

どうですか!私達と一緒に

野球にかける情熱はすごいものがあります。投げて・打って・走って・守って、ユニホーム姿は、お爺ちゃんではありません。昔を思い出しながら、若者になりきってプレーを楽しんでおられます。特に古希野球に関しては、技術なんか必要ありません。体力があり、少しだけ野球というスポーツの知識、そして一番大事なことは、野球が大好きだという事です。こういう私だから決して上手ではありません。

早めに雪が解けたので、今月の中旬を迎える。本州では、雪が年明けから降雪は少なく、除雪の苦労が大きいが、それでも桜前線の北上が取

り、沙汰されている。昨年末にはいささか閉口したのである。各町内会も高齢化が進み、お宅の除雪対策がある。守りを取り組んでいる町では、除雪がおろそかにならぬまま春を迎えて欲しいが極たの

た。このように、年明けから雪が降る。でも春になつたら融ける。それは、今後も増大していくことは明白であるが、こりに内見いが。といった解決策がないことは、現実である。「どんな雪とそれに対応する方法を紹介させていただいた。そのように楽天的に考えたのが、今号も3つの町内会の活動を紹介させていただいた。様々な活動を通して、向こう3軒隣から地域全体に「目配り」「気配り」「心配り」が出来る、人と人との心を通じてネットワークづくりが、この種の悩み解決の一番近道なのではないかと。編集委員